

平成24年第4回(12月)  
粕屋町議会定例会

一般質問通告一覧表

通告順	議員氏名
1	安河内 利 明
2	川 口 學
3	田 川 正 治
4	本 田 芳 枝
5	小 池 弘 基
6	因 辰 美
7	久 我 純 治
8	山 脇 秀 隆

通告順 NO. 1 質問者 12番 安河内 利 明

質問事項	質問の要旨	質問の相手
都市計画道路について	<p>福岡都市計画区域に属する本町の計画道路に対する町の考え方は 路線名「土井宇美線」「南里新大間線」</p> <p>①公表できる周辺を含めた進捗状況は</p>	町 長
人事評価と職員人事について	<p>人事評価制度の導入によって</p> <p>①人事評価と部長制の関連はどの様に評価されているのか。 また、部長制存続の思いは</p> <p>②副町長について、今後登用の考えは無いのか</p>	町 長

通告順 NO. 2 質問者 15番 川口 學

質問事項		質問の相手
幼稚園（公立）の改善について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 預り年令3歳児までの引上げ</li> <li>2. 預り時間午後2時～3時迄延長</li> <li>3. 遊戯室にクーラー設置を</li> </ol>	町 長
学童保育の改善について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 預り年令の引上げについて（6年生まで）</li> </ol>	町 長
小中学校の冷房施設の改善について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工業用扇風機から、小学校1年生からでも順次年時計画をたててクーラーの設置を</li> </ol>	町 長
水道料金の引下げについて	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水道料金（下水道料金）の引下げで町民生活を少しでも豊かに</li> </ol>	町 長

通告順 NO. 3 質問者 3番 田川正治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 学校給食問題について	<p>①老朽化した学校給食センターの建て替えは、食品の安全性・衛生面などからも緊急性が求められている。保護者の要望が多い自校方式、又は親子方式で実施するために、中期的な計画を立てた予算化が必要だが</p> <p>②町として学校給食費の補助制度を確立して、保護者の経済的な負担の軽減をすべきだが</p>	教育長
2. 乳幼児と就学前の子育て支援について	<p>①保育所と幼稚園の待機児童解消はどのように改善されたのか。今後の対策と計画は具体的に検討されているのか</p> <p>②老朽化した町立保育所の建て替えのため、中長期的な計画は検討されたのか。このまま推移すれば公共施設の建て替え、修理の責任を町は放置するのではないか</p> <p>③町立保育所の温水シャワーの故障、トイレや調理室の異臭、雨漏りなど、緊急性のある個所については直ちに修繕すべきだが</p>	町長
3. 太陽光発電の設置補助制度について	<p>①全国的にも再生可能エネルギー助成制度を実施する自治体が増加しているが、町としての制度化は検討されたのか</p>	町長
4. 就学援助制度の改善について	<p>①2010年度から準要保護児童生徒に拡大された、クラブ活動費、PTA会費、学級会費を実施するための今後の計画や取り組みについて</p>	教育長

通告順 NO. 4 質問者 7番 本田 芳 枝

質問事項	質問の要旨	質問の相手
いじめ問題の継続的な調査と強化を	(1) 昨年度までのいじめの件数とその対応 (2) 今年度7月文科省のいじめ調査以後の動きとして ・いじめについての具体的な定義 ・教職員への研修、保護者向けの周知の仕方などは ・いじめに特化したアンケート調査結果の報告は	教育長
子ども・子育て支援事業計画について	(1) 計画策定会議の準備は (2) 放課後児童クラブの拡充・指導員の研修について (3) 放課後子ども教室事業の調査は	教育次長
行政評価について	(1) 行政評価システムの見える化を (2) 外部評価は (3) 3つの生涯学習施設の行政評価について	町 長

通告順 NO. 5 質問者 2番 小池 弘 基

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 学校給食調理場建設に伴うPFI導入可能性調査の進捗状況について</p>	<p>1. 24年9月定例会において、学校給食調理場の建設には先にPFI導入可能性調査を行うため、学校給食調理場建設の設計委託料3000万円を減額補正されましたが、その後のPFI導入可能性調査の進捗状況を尋ねます。</p> <p>①平成24年10月31日付けの建設工業新聞に粕屋町の学校給食調理場のPFI導入可能性調査業務の公募型プロポーザルで4社を審査し、最優秀提案者に日建設計総合研究所を選定したと記事で紹介されていましたが、それまでの経緯を尋ねます。</p> <p>②PFIでの事業方式には、様々な方式がありますが、どの方式が良いと考えておられますか。</p> <p>③PFIでの事業は、工事着工までに2～3年の時間がかかるとされてますが、学校給食調理場建設がそんなに長く時間がかかっても良いのですか。</p>	<p>教育長</p>

通告順 NO. 6 質問者 6番 因 辰 美

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1) 予算について	<p>①当初予算について問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの様な指示を出しているのか。</li> <li>・どの様な方法で策定されているのか、また、調整方法は。</li> </ul> <p>②補正予算について問う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、補正が多過ぎるが、原因は何か。</li> <li>・何故、ルール通りにできないのか。</li> </ul>	町 長

通告順 NO. 7 質問者 5番 久 我 純 治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>平成25年になります。部長制を続けられるのか、又副町長制を考えてあるのか。</p> <p>シルバー人材センターの今後の方向は。</p>	<p>部長制が取り入れられてもうすぐ4年になります。又副町長制が考えられると思います。町の財政も昔と違い良くありません。実質公費比率が18%以上になり地方債の発行にも県の許可が必要になりましたが、町長の舵取りは。</p> <p>来年度で県よりの補助金も無くなります。大きな財源だと思っています。町に対しても今以上には望まれません。駕与丁公園の仕事にも限界があると思います。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>



通告順 NO. 8 質問者 13番 山脇 秀 隆

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>高齢者雇用におけるシルバー人材センターの役割の重要性について</p>	<p>粕屋町の60歳以上の高齢者は、9,313人と年々その数は増え続けています。毎年500人前後の高齢者の人口増加がみられ、老後の生活の生きがいや健康的な生活が求められる一方で年金だけの生活では、とても生活ができない低所得者の対策は喫緊の課題です。</p> <p>①粕屋町は、高齢者雇用対策をどのように考えるか。</p> <p>②高齢者雇用の受け皿であるシルバー人材センターの役割とは。</p> <p>③民主党政権下における行政刷新会議の事業仕訳による補助金の減額はシルバー人材センターの運営を厳しいものに行っているが改善策はあるのか。</p>	<p>町 長</p>
<p>事業者用ゴミ袋の導入は、ゴミの減量化とゴミ焼却場の負担金の軽減につながることに</p>	<p>ゴミの焼却には、須恵町外二ヶ町で運営するクリーンパークわかすぎがあります。可燃ごみにおいては志免町、宇美町が加わりゴミの処理をしています。183,957人の出すゴミの処理にかかる負担金は、20%の均等割りに加えてゴミを各町が搬入する重さによる従量制で決められています。ゴミの減量化は、喫緊の課題です。また、負担金の軽減は各町が強く望むところです。</p> <p>①事業者が出す可燃ごみの処理はどのように処理されているか。（事業者とゴミ回収業者の契約形態と処理方法）</p> <p>②事業者用ゴミ袋の導入についての考えを問う。</p>	<p>町 長</p>